

『奇貨居くべし』 中央公論新社
宮城谷 昌光／著

時代は中国の紀元前、自身の将来に希望がないと悩む15歳の呂不韋(りよふい)。ある日、父の言い付けで従者・鮮乙(せんいつ)と共に山を見に行くことになり、この旅立ちが彼の人生を大きく変えていく。天下の名宝「和氏(かし)の璧(へき)」との出会い、趙(ちょう)と秦(しん)の争いへの関わりなど、次々訪れる苦難や英傑たちからの教えを受け、次第に自分が果たすべき役割を見いだしていく。



混沌(こんとん)とした戦国時代、「事を成す」べく、容易でない人生を役人でも武人でもなく賈人(こじん)として奔走する。群雄割拠から秦が中国統一を成し遂げる直前の時代を生き、始皇帝の父とも称される呂不韋の生涯を描く(全5巻)。